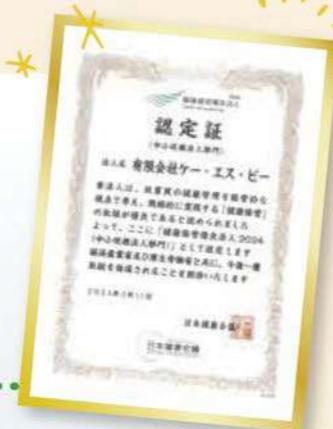


今年も!! /

健康経営優良法人

認定証をいただきました!!



去年に続き、健康経営優良法人の認定をいただきました! 今回は「従業員間のコミュニケーションの促進」をテーマに掲げ、社員同士で業務以外の共通話題を共有・把握できるように、スピーチをする時間を週に一回設けて活動中です! 個人的に今注目しているニュースや趣味など、プライベートな話題も発信してもらうことで、今まで知らなかった上司・後輩の意外な一面を発見することができました。

健康経営の活動を通して、社員同士の会話や仕事のやり取りがスムーズになり、困った時に頼り頼られる関係性が築けているの身をもって実感しています。コロナ自粛前から参加していた地域イベントやボランティア活動も活気が戻ってきたので、地域の方々とのコミュニケーションにもより積極的に力を入れていきます!

今後も活動の継続と挑戦を通して、来年も認定をいただけるよう精進してまいります!!

Q. 健康経営とは?

企業が社員の健康管理を経営課題としてとらえて積極的に改善に取り組むことです!

元々健康管理は社員個人で行うものだと考えられていました。しかし、社員の健康保持・増進が企業全体のパフォーマンスに大きく影響することが明らかになった現在では、健康経営は単なるコストではなく会社を成長させる投資であるとされています。



効果ある看板で認知度UP 収益UP

企画から施工までクライアントの皆様をトータルにサポートします!

ニーズにお応えしながら、“限られたスペースを最大限活かした”広告スペースのご提案をします。

企画

最大限の広告効果を得るための現地調査を実施。
ご要望を取り入れつつ、効果的なサイン・デザインをご提案いたします。

制作

自社工場にて制作いたします。
そのため、決定したサインの種類やデザインに基づき、スピーディーな制作を可能にしました。

施工

確実で丁寧な施工。
企画段階での現地調査により現状を把握し、企画から施工まで一貫したサポートにより正確・迅速・低価格を実現しました。

看板のことなら、どんなお困りごともご相談ください!

広告企画・屋外広告・看板制作

<http://ksp-japan.net>

K.S.P
Total Produce

K.S.P 通信

皆様、こんにちは! 制作部デザイナーの白瀧です! 冬の寒さも和らぎ、徐々に春の暖かさを感じる季節になりましたね。ついこの間年を越したと思っていたのに、もう1年の3分の1が終わってしまいました…早いものですね。何事も後回しにしていると、あっという間に5年、10年…と過ぎてしまいます。私は「人間はいつだって、今が一番若い」という言葉を意識して生活するようにしています! 「今更始めたって…」「もうこんな歳だし…」と躊躇せず、やろうと思ったその時に動き出してみてください。さて、KSPにも4月から新しい仲間が増え、新たな風が吹き込みました! 私自身も入社3年目になりましたので、更に気合を入れて頑張っていきます!

最近の施工事例

サイン紹介

最近の施工事例を元に、様々なサインについてご紹介します♪

構造や、取り付けることによっての効果なども書いてありますので、ぜひ参考にしてみてください!!

電飾サイン

“電飾サイン”といっても様々な種類があります。今回はその中でもチャンネル文字・バックライト文字をご紹介します!! 文字自体が光る存在感のあるサインで、人気です。それぞれのサインの特徴をご紹介します!

チャンネル文字

箱型文字の中にLED等をセットし、文字の正面を光らせるサインです。表面に光を透過するフィルムを貼ることで、夜間でもコーポレートカラーなど、ご希望の色で光らせることができます。存在感や重厚感のあるサインで、認知度が高まります。



少し凸凹のある壁だと、光が分散して文字が綺麗に浮かび上がってくれます!



はっきりとした字体や線が細いようなメリハリのあるデザインの時によく合います!

バックライト文字

文字の裏から壁面にライトを照らすことで、文字が浮かび上がっているように見えます。間接照明のような高級感をあたえることができます。それぞれ壁面によって向き不向きがありますので、ぜひご相談ください!

エイジング加工

表紙の施工事例でも紹介しているエイジング加工には様々な技法があります。

エイジングとは「老化・後退」を意味しており、エイジング加工とは新しい小物や建物の内装・外装等を何年も使い込んでいたかのように手を加えることです。あえて傷やサビをつけて、アンティーク風に仕上げることができます。実際の腐食ではなく、塗装での表現のため雨などで腐食が進行することなく、サビ等で床・壁を汚すことがありません。事例のような塗装加工、実際に傷をつけていくダメージ加工など様々な技法があり、設置する場所や物によって方法は変えることができます。

ぜひご相談ください!!



正面から見た施工写真



文字部の拡大写真

今回は3mmのステンレスプレートを使用しました。「e」や「9」のように間の部分が抜けてしまう箇所は1mm幅の線で繋ぎます。(最低1mm)

埼玉建設株式会社様からのご依頼